



四季 ~四中の季節~

第6号(9月)

- 教育目標
- 自分で考え進んで実践する人間
 - 公共心に富み情操豊かな人間
 - 勤労を尊び責任を重んじる人間
 - 健康でたくましい人間

令和5年9月4日発行

校長 関 勝 志

〒187-0045

小平市学園西町1-3-1

☎ 042 (341) 4344

Mail gakkou@34.kodaira.ed.jp

自然災害『これまでの100年、これからの100年』

校長 関 勝 志

2学期が始まりました。久しぶりの登校風景を見て、子どもたちの笑顔と元気な姿にほっとしました。宿題が終わっていなかったかもしれませんが、元気に登校してくれたらそれでいいです。不安や辛いことがあったら誰かに胸の内を話してほしいです。先生たちは子どもたちの気持ちをしっかり受け止めます。

2学期は、3年修学旅行、2年職場体験、1年川越校外学習、全校で取り組む合唱コンクールなど、子どもたちの活躍の場がたくさんあります。力を合わせて、「笑顔」で頑張してほしいと思います。

1学期の生活アンケートで「学校生活が楽しい」と回答した子どもは94%でした。そう感じてもらえることが何よりうれしいです。でも四中は「誰一人とり残さない学校」を目指しています。残りの6%の子どもたちも楽しいと感じられるような学校生活を願っています。

【関東大震災から100年】

ちょうど100年前、1923年(大正12年)の9月1日に、大きな地震が関東地方をおそいました。関東大震災です。地震の発生が昼食の時間と重なり火を使っている家が多かったことから、あちらこちらから火の手が上がりました。さらに、日本海側に台風があったことにより強風で火はどんどん燃え広がり、当時の東京市(今の23区)は火の海となって丸二日間燃え続けました。神奈川県沿海沿いの地域では津波や土砂災害による大きな被害がありました。電車が丸ごと海に転落する事故もあったそうです。そして、死者・行方不明者が10万5千人という未曾有の被害もたらしました。約9割が火災による犠牲者でした。生き延びた人たちも深い悲しみや絶望感に打ちひしがれたことと思います。それでも、希望を捨てず必死に生きて、助け合ったからこそ、復興することができました。

その後も、阪神淡路大震災や東日本大震災、豪雨、土砂災害など数多くの自然災害が発生し、多くの方が犠牲になっています。

いま、首都直下地震が、30年以内に70%の確率で発生するといわれています。それは今日かもしれません。私たちにできることは何でしょうか。自分や周りの人の命を守ること、被害を最小限に食い止めること、希望をもって生活の再建や復興に努力することなど、真剣に向き合う必要があります。



【地球温暖化のこれから100年】

今年の夏は異常気象といえる記録的な暑さが続き、過去100年で最も暑い夏でした。全国の平均気温は平年と比べて1.76℃高く、北日本では3℃も高くなりました。猛暑日も過去最多で、熱中症が急増しました。北海道では小学2年生の女の子が体育の授業のあとに倒れ、熱中症で尊い命が奪われました。

猛暑の要因としては、偏西風の蛇行など自然変動も挙げられていますが、長期的な「地球温暖化」が気温を底上げしていることは間違いありません。東京の年間平均気温も100年前と比べると3.2℃上昇しています。このまま適切な地球温暖化対策をしなければ100年後の世界の平均気温は最大で4.8℃高くなると予測されています。このような状況を捉えて、「地球沸騰の時代」ともいわれています。考えただけでもぞっとします。

温暖化の原因は、人間の活動によるCO₂(二酸化炭素)をはじめとした温室効果ガスです。ただし、温室効果ガスがまったくなくなってしまうと、地球の平均気温はマイナス19度になるといわれていますので、増えすぎてしまったことに問題があります。温暖化は、熱中症など人体への影響はもちろんのこと、他の生物や農作物への影響とともに、海面の上昇、海水温の上昇による台風の巨大化や豪雨、森林火災など様々な自然災害を引き起こします。自然災害の中でも地震は発生を予測することはできても残念ながら止めることはできません。しかし、地球温暖化に伴う自然災害は防ぐことができます。

「カーボンハーフ」という言葉を知っているでしょうか。

「2030年までに都内温室効果ガス排出量を50%削減する」取組です。「HTT」という言葉はどうでしょうか。

「電力をHへらすTつくるTためる」取組です。

CO₂を減らすために、私たちがやるべきことがあるはずです。節電、ごみの削減や分別、マイバッグなど、今すぐ主体的かつ真剣に取り組む必要があります。



■ 1年生校外学習について ■

1学年担当 糸井大地・酒井結以

中学校に入学して、初めての学年行事（校外学習）を9月22日（金）に実施します。行先は、川越方面です。実施に向けて実行委員会を組織し、生徒と一緒に準備を進めているところです。実行委員会で決まったスローガンは、「共に」です。集団として、仲間と一日を「共に」行動し、協力しあって有意義な校外学習にしたいという願いが込められています。

校外学習は文字通り「校外で学習」を行います。ワクワクと緊張が入り混じっているようですが、持前の明るさを生かして、ぜひ四中の学校生活だけでは学べないことを学んでほしいと思います。

■ 2年生職場体験について ■

2学年担当 竹腰佑妃

4年ぶりに再開される職場体験です。コロナ禍で長い間実施できませんでしたが、ようやく今年度再開されることになりました。たくさんの事業者様が体験を受け入れてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。12日（火）～14日（木）の3日間ですが、この体験が2年生にとって自分の将来の進路と真剣に向き合うきっかけになればよいと思います。1学期は、ハローワーク立川からジョブサポーターの方に来校していただき、レディネステストを活用して、「自分の適性は何だろう」「自分が興味ある分野は何だろう」と分析したり、職業についての話を聞いたり、挨拶の仕方を学んだりしました。また、総合的な学習の時間に、それぞれ同じ職場体験先のグループに別れ、自己紹介カードの作成やルートの確認とともに、職場体験事前訪問で質問する内容を考え、実際行ったときにどのように行動するかシミュレーションしてみました。9月の第2週目からはいよいよ事前訪問です。きっと実りある体験になるでしょう。

■ 3年生修学旅行について ■

3学年担当 岩間康行

9月24日（日）～26日（火）まで、3年生は修学旅行へ行ってきます。修学旅行へ向けて、6月から修学旅行実行委員を中心に準備を進めてきました。今年のスローガンは、「温故知新 ～楽しく巡る古都と思い出～」です。1・2日目に班別行動を中心に奈良と京都を巡り、最終日にクラスで半日京都や周辺地域を見学することになっています。スローガンのとおり、日本の古き良き文化に触れ、仲間と一緒に過ごす時間を通して、新たな学びと思い出ができればよいと思っています。

■ 生徒の活躍 ■

◇陸上競技部◇

第50回全日本中学校陸上競技大会

男子走幅跳 第7位 奥澤雄音

第51回関東中学校陸上競技大会

1年生女子100m 第8位 藤井日菜乃

第35回東京ジュニア陸上競技大会

1年生女子100m 第1位 藤井日菜乃

第70回記念大会はちおうじT&Fトライアル

男子3年走幅跳 第2位 奥澤雄音

女子1年生100m 1位 藤井日菜乃 / 女子2年100mH 第3位 力石依里香

女子1・2年生走幅跳 第2位 力石依里香

女子共通4×100m 第3位（力石・樽井・藤井・武富）



◇ソフトテニス部◇

小平市夏季中学生大会

2年個人戦 準優勝 秋山・畑農組 / 第3位 逸見・高比良組 / 第3位 星野・宮永組

2年団体戦 準優勝 小平四中Bチーム / 第3位 小平四中Cチーム

1年団体戦 第3位 小平四中Bチーム

第10ブロック夏季学年別研修大会

2年個人戦 優勝 逸見・高比良組

1年個人戦 第3位 島崎・今村組 / 第3位 半場・藤野組



◇吹奏楽部◇

第63回東京都中学校吹奏楽コンクール 金賞 東京都大会出場

■ 10月の主な行事 ■

2日 全校朝礼 避難訓練

4日・5日 中間テスト

10日 学校公開

11日 学校公開 専門委員会

12日 学校公開 生徒総会リハーサル

13日 学校公開 生徒総会

14日 土曜授業日 1・2年体験学習 3年午前授業

18日 合唱コンクールリハーサル

20日 進路説明会（3） 安全指導

23日 生徒会朝礼

27日 合唱コンクール（ルネ小平）

31日 3年三者面談（始～11／8）